

2025年3月14日

各 位

株式会社北國フィナンシャルホールディングス
株式会社北國銀行

次期コアバンキングプロジェクトにおけるマルチ LLM の導入について

株式会社北國フィナンシャルホールディングス（代表取締役社長：杖村 修司）と株式会社北國銀行（代表取締役社長：米谷 治彦）は、次期コアバンキングプロジェクトの生産性向上を目指し、マルチ LLM（Large Language Model）の導入を決定しました。

採用するのは Microsoft 社の Azure Open AI Service と Google 社の Gemini であり、これにより、旧プログラムから新プログラムへの自動変換や、仕様書からのプログラム生成など、さまざまな業務プロセスの自動化を図ります。この取組みにより開発時間の短縮と品質の向上を目指します。



現在、プロジェクトは設計フェーズが3月に終了し、4月から製造フェーズに入る予定です。製造・テストフェーズはマルチ LLM の効果が最も発揮されることを期待しています。

当社グループでは、今後も生産性向上のためマルチ LLM の使用推進、新機能のキャッチアップに取り組んでまいります。

記

■マルチ LLM における具体的なユースケース

（二つのモデルの内、都度良い結果を採用していきます。）

1. Code to Code
 - 旧プログラム（Cobol）から新プログラム（Java）への自動変換
2. Code to Doc
 - プログラムから処理内容を日本語化。仕様確認やレビューで利用。
3. Doc to Code
 - 日本語の仕様書からプログラムを生成。
4. Test Code
 - 自動テスト用のロジックを自動的に追加。
5. Test Case
 - プログラムからテストケースを自動生成。

■関係者コメント



Microsoft が提供するクラウドおよび AI ソリューションが、株式会社北國フィナンシャルホールディングス様および株式会社北國銀行様の次期コアバンキング開発の生産性向上と品質向上に寄与できることを嬉しく思います。モダナイズされた新しい次期コアバンキングの稼働によって、株式会社北國フィナンシャルホールディングス様および株式会社北國銀行様が金融業界において新しい価値を創造されることを確信しています。

日本マイクロソフト株式会社 代表取締役 社長 津坂 美樹



北國フィナンシャルホールディングス様 および 北國銀行様 が、次期コアバンキングプロジェクトにおいて導入されるマルチ LLM の一つとして Gemini を採択いただいたことを大変光栄に思います。Gemini が持つ高いセキュリティや高度な推論機能、そして最大 200 万トークンのコンテキストウィンドウは、コード生成やプログラム変換といった複雑なタスクを処理したり、大量の情報を一度に分析してより正確な結果を提供することに長けており、次期コアバンキングプロジェクトの開発時間短縮および品質向上につながると確信しています。Google Cloud は、技術支援を含めた様々なエリアで、この最先端な取り組みに伴走し支援してまいります。

グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 日本代表 平手智行

■次期コアバンキングプロジェクトに関する詳細

プレスリリース (2023. 11. 17)

<https://www.hfhd.co.jp/wp/wp-content/uploads/2024/01/20231117a.pdf>

以上